



学校教育目標
目指す児童像

ふるさとを愛し、自己の夢の実現に向けて努力する児童の育成
進んで勉強する子 思いやりのある子 体をきたえる子



心の力を引き出す言葉と働きかけを



深谷市立榛沢小学校長 横田 茂男

『アフリカの聖者』と言われたシュヴァイツァー博士は、未開の地であったアフリカで多くの原住民が病で命を落としているのを知り、西洋医学を広めて多くの命を救いました。当時のアフリカでは、迷信や呪術がもてはやされ、多くの原住民はそれに頼っていました。

「こんなに迷信や呪術を使うまやかしの治療師がいては、西洋医学で治そうとするあなたの医療の妨げになってしまいますね。」と、インタビュアーが博士に聞きました。博士は、「西洋医学も本人の治る力を助けているにすぎません。人は自分の中に医師を持っています。呪術師も人間の心の力を引き出そうとしている点で同じです。」と答えたと言います。

プラセボ効果という言葉があります。有効成分が含まれていない薬を本物の薬として患者に使用してもらった時、ある程度の割合で治ってしまうことがあります。薬を飲んだという安心感が、体にある医師である自然治癒力を引き出していると言われていています。

医療に携わっている方々を除き、多くの大人は子供たちに医療行為を施すことはできません。ですが、プラスの力を与えることはできます。言葉と働きかけで心の力を引き出してあげたいと考えます。

全校朝会 12日

福祉の心を育む交流会 20日

林間学校 26日 5年



読書をテーマに、私の読書の仕方も紹介しました。



ご家庭からお預かりしたティッシュボックスを贈呈しました。



日帰りでの実施でした。スタンプラリーやキャンプファイア、プラネタリウム等々、思い出多いものとなりました。



渋沢栄一翁没後90年「渋沢翁語らいの日」の取組について

深谷市は、ふるさとを知り、誇りに思える子供の育成(「ふるさと教育」)を推進しています。今年は渋沢栄一翁没後90年にあたることから、市内全小中学校で、命日である11月11日に栄一翁に関わる教育活動を行い、「ふるさと教育」に力を注ぎます。岡部地区小中5校では、共同の取組として動画を作成し、児童と保護者に限定公開します。岡部中学校生徒会が動画の編集を担当します。動画の内容は以下のとおりとなります。①オープニング 岡部中学校生徒会 ②岡部落をめぐる旅 岡部中社会科担当「でかけてみませんか、岡部落を巡る散歩旅」 ③煮ぼうとうと渋沢栄一について 岡部中栄養教諭 「栄一翁が愛した煮ぼうとう」 ④各学校の取組紹介「岡部地区小・中学校の取組」 ⑤渋沢栄一翁と深谷市の(ふるさと)教育について 岡部中学校長 ⑥エンディング

【本校が取り組む内容】

1 動画④の本校に係る内容は、「校長の話、夢宣言(6年)、藍染め体験報告(5年)」を予定しています。

2 その他として、「渋沢栄一翁ころざし読本」を使用した授業を実施します。

()に、授業で主人公の思いを考えるヒントとなるできごとなどを掲載しました。

1年「父の教え」「人間の欲はきりが無いのだ。」と父が栄一を諭した時、栄一は何を感じたのでしょうか。

2年「備前堀(備前堀が別の場所に作りかえられる計画を聞いた尾高惇忠は、どんな行動を取ったのでしょうか。)

3年「はんの木学級「屋台ばやしとししまい」(栄一翁はなぜ東京からししまいを見に深谷に帰って来たのでしょうか。)

4年「レンガづくりにかかわった三偉人」 ※11月4日「ふるさと先生」の授業実施に充てます。

5年「至誠の人 尾高惇忠」(富岡製糸場の初代工場長として工女を集める必要がある惇忠はどうしたのでしょうか。)

6年「いささかなりとも働いてこそ」(関東大震災が起きた時、83歳の栄一翁はどんな行動を取ったのでしょうか。)